



学校での学びと、地域における学びが結びつき、郷土の未来を拓く「長野県教育」を実現する取組

学校における学びの変革 ～地域とつながり、地域と共に学ぶ学校～

地域における学びの創造

■ 未来とつながる

未来を見据えた学びの推進

◇ICTを活用した学びの推進 (253,982千円)

○ICTを活用した先駆的・モデル的学習の実践研究

- ・高校における教育の情報化推進
- ・遠隔教育システムの活用等
- ・RESASを活用した探究学習の推進

○ICT利活用環境整備

- ・電子黒板、生徒用タブレット端末の整備
- ・ICT支援員の派遣

○教員のICT活用指導力向上研修の実施

○特別支援学校小学部へのタブレット端末の導入

◇ 学びの改革(高校フロントランナー改革) (2,749千円)

H30年度以降の高校の姿を「学びの改革 実施方針」として策定し、魅力ある教育の場として高校を構築

- 地域懇談会の開催
- 市町村長、産業界等との意見交換会の開催

◇未来を担う科学技術人材の育成(22,074千円)

- 中高生の航空宇宙分野への関心を高める取組を推進
- 科学オリンピックなどで活躍できる人材を育成

■ 世界とつながる

郷(ふるさと)を知り世界と向き合える人材の育成 (240,199千円)

◇海外学生との交流や多様な経験を積むための体験的なプログラムを実施

- 信州グローバルユースセミナーの開催
県内で高校生の語学力、課題解決力を育成するセミナーを開催し、異文化交流体験の機会を創出
- 「学校内の学び」から「社会に開かれた学び」へ向け、学校とセミナー等を主宰する団体とをつなぐプラットフォームの設立を検討

○「学校内の学び」から「社会に開かれた学び」へ向け、学校とセミナー等を主宰する団体とをつなぐプラットフォームの設立を検討

◇高校生の留学促進

- フィリピンへの短期留学(県単)の継続
「未来塾ながの in the Philippines」
- グローバル語り部派遣 等

◇ SGHスーパーグローバルハイスクールにおける取組

- ディスカッションやプレゼンテーションのツールとして英語を使いこなすための指導等を充実

■ 地域とつながる

地域とともに学びを深める取組の推進

◇「信州学」の推進(12,899千円)

- 信州学推進員委員会を設置し、各高校が行う地域の特色を生かした信州学を推進
- 信州学に積極的に取り組む教員を養成
- 学習内容・成果を発表するための「信州学サミット」の開催

◇学びと働きを連携させた新たな人材育成モデルの推進 (90,229千円)

- 地域企業と連携し、最先端の技術を体験実習するなど、デュアルシステムにより、地域産業を支える人材を育成

◇特別支援学校における総合的な就労支援 (15,873千円)

- 新たに技能検定を導入し、職業教育を充実
- 就労コーディネーター配置の継続

◇ 学びの改革(高校フロントランナー改革)

【再掲】

■ 世代を超えた学び

世代を超えた学びの実現

◇ 県立図書館改革の推進 (211,737千円)

- 「共知・共創の場」としての図書館の姿を実現
- これからの図書館フォーラムの開催等による人材育成
- 新たな時代にふさわしい学び方“Co-learning”モデルの提案

◇ 県立歴史館における学びの変革(178,523千円)

「来館型」から「地域貢献型」の歴史館へ転換し、歴史を学ぶことから未来を考える取組を推進

- お出かけ歴史館
県内どこでも歴史を体感できる機会づくり
- 開館25周年(H31年)に向けた取組
企画展「縄文土器Ⅱ」(仮称)の開催 等

◇「みんなの学び」の創造

- ・共知・共創の県づくりに向け、県内各地でファシリテートの達人の協力を得て、ゆるやかなネットワークづくりに着手
- ・県立図書館事業と連動したソーシャルイノベーションワークショップを開催

しあわせ信州創造プラン・第2次長野県教育振興基本計画(H25～H29)の着実な遂行

学びの保障・学びの基盤

スポーツの振興

■ 信州教育の信頼回復に向けた取組

- 非違行為の根絶等、教育の信頼回復に向けた取組を全力で実行

■ 困難を抱える子どもへの支援、相談体制の充実

- スクールカウンセラーの配置(148,755千円)
- スクールソーシャルワーカーの配置充実
H27:8人分 H28:18人分 H29:24人分(62,553千円)
- 特別支援教育の充実(753,741千円)
・通級指導担当教員の増員(H29:11人増 計39人)
- ・自立活動担当教員の増員(H26～H29で80人増)
- 中信地区特別支援学校再編計画の着実な推進
(523,943千円)

■ 信州少人数教育の推進

- 30人規模学級編制や少人数学習集団編成等、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かい指導を継続

■ 学力の向上

- 次期学習指導要領の改訂に対応した学力向上施策の推進
- 「未来を拓く学力」の向上事業(6,541千円)
- 高等学校学力向上推進事業(23,361千円)

■ 体力の向上(123,758千円)

- 運動部活動支援や長野県版「運動プログラム」の普及等により学校と地域における子どもの体力向上施策を推進

■ 性被害防止教育の充実(7,369千円)

- 性被害防止教育キャラバン隊の派遣先拡大
- 研修充実による教員の性に関する指導力向上

■ 教育環境の維持改善

- 県立学校の集中的な環境改善 (980,595千円)
老朽化に伴う計画改修をH28から3年間で集中的に実施。加えて、トイレ洋式化などにより児童生徒が長時間過ごす生活の場でもある学校の環境を向上

■ 文化芸術の振興

- 全国高等学校総合文化祭(2018信州総文祭)開催準備 (97,120千円)

■ 冬季国際大会の開催

- (30,000千円)
長野五輪から20年経過を契機にノルディックコンバインドワールドカップ及びFISサマーグランプリジャンプ白馬大会の開催支援

■ 県立武道館の建設に向けての設計等の実施

- (137,200千円)